

フードバンク関西ニュース FOOD BANK KANSAI NEWS

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

<https://foodbankkansai.org/>

神戸市東灘区深江本町1-8-16 バレル芦屋101
TEL : 078-855-7025 info@foodbankkansai.org



vol.
52
2025.6

ご支援ありがとうございます

フードバンク関西は2025年3月31日をもって第22期を無事終了することができました。私たちの活動を支えてくださった皆さまに感謝し心より御礼申し上げます。

「令和の米騒動」と言われるように、昨年夏前から米不足になりお米の値段が急騰しました。当然フードバンクでもお米の入手が困難になりました。そのような時に農家さんが遠方よりお米を積んで来て下さったり、「スーパーで買ったから」と個人の方がお米を寄付して下さったりと、たくさんの方の温かい思いに助けられましたこと、本当にありがたかったです。

当法人の活動を知った国会議員さんが備蓄米無償交付のフードバンク枠創設を働きかけてくださり、行政担当部署の方々など関係各所にご助言いただきながら交付申請をし、年度末に政府備蓄米の無償交付を受けることができました。おかげで新年度の準備で家計が苦しい子育て世帯への食品パック発送に間に合い、それら世帯にお米を送って喜んでいただくことができました。改めてお米があることの有難さを感じています。

今もお米だけでなく食品の値上がりが続いていて、食の確保が難しくなる世帯が増えています。フードバンクの出番が多くなるのは決して望ましいことではありませんが、今を生き抜き明日に繋げる力となるよう、皆さまのご協力を賜りながら困難を抱える人たちに食品を届けてまいります。引き続きフードバンク関西に温かいご支援を寄せてくださいますようお願い致します。

進級・進学応援食品パックプロジェクト

実施時期：2025年3月
発送件数：414世帯、1247人
協力企業・団体数：政府備蓄米使用、8企業・団体
総重量：約4トン

給食がなくなるとともに進級進学で出費がかさむ春休みに、企業や団体、個人の方から寄せられた食品を詰め合わせて無料で宅配で送る食品パックプロジェクトを実施しました。対象は兵庫県内在住、小学生以上高校生以下の子どもがいる世帯で、児童扶養手当受給など困窮している子育て世帯です。行政の子育て支援窓口や社会福祉協議会、民間の支援団体などに、対象世帯への情報提供をお願いしました。政府備蓄米をはじめ、たくさんのお米と笑顔をお届けすることができました。ご協力いただきました皆さまに深く感謝いたします。

一番嬉しかったもの

〔お米、ワッフル、プリン型のミニチョコ〕

通信欄

この物価高の中、通り討ちSEからけりかのように、今年も小学校の卒業と中学校の卒業が来るといふ4月には、中学校の入学と高校の入学が来るといふことは、新たに制服や体操服など購入しなければなりません。毎日通帳に3桁の数字で、今年中でのフードバンクからの届けものも、本当に本当に嬉しく、子どもたちと一緒に喜びました。普段買えない高級な食材が来て、これに頑張る気になります。本当にありがとうございます。

お米・レトルトカレー
パックご飯・α米・
チョコレート他菓子・
コーヒー等

今回の食品パックに
寄せられたコメント

(コメントの掲載については、皆さまからご許可をいただいています)



一番嬉しかったもの

〔お米 おかし〕

通信欄

本当にたくさんのお米をありがとうございました。1人で小学校低学年2人を育てていく道と決心する前からの生活を維持しようと思いましたが、なかなか現実には難しく、物価高が続く子供は子供なりに何か感じているんだなあ...と少し悲しくなることもありましたが、食べ物があるって幸せなことなんだと子供達と再確認しました。感謝の気持ちでいっぱいの子供達も大興奮です。

一番嬉しかったもの

〔お米とおかし、子どもにはチョコレート〕

通信欄

どれもこれも嬉しくて、宝探しのよう。ダンボールから出して「あ美味いそう」と言っていました。小学校を卒業し、中学に上がるのに必要な物も多く頭を悩ましてはいたけど、今回食品が届くとメールを受け取った時は少し気持ちが軽くなりました。食べ盛りの子供達には、お米をおおわりさせてあげられるのが本当にありがたいです。

一番嬉しかったもの

〔お米〕

通信欄

皆様から寄付いただいた食品をいただき、感謝の気持ちがあふれ出し、涙が止まりませんでした。たくさんの方々の思いが詰まったプレゼント、本当にありがとうございます。息子にたくさん食べさせられることが本当にうれしいです。

事業活動の概況

経済的に困窮し食品の入手が困難な方々へ食品を届ける困窮者支援に重点を置いて活動をいたしました。

「子育て世帯応援食品パック」事業を昨年までの年2回（夏休み、年末）に加えて、3月にも進級・進学応援として実施し、計3回実施いたしました。地域で困窮世帯に食品を無償配布するパントリー団体への食品の提供も増加しました。

一方、一時的に米の入手が困難になることもあり、寄贈食品では賄えない米やたんぱく源、おかずになるものの購入が増加しました。

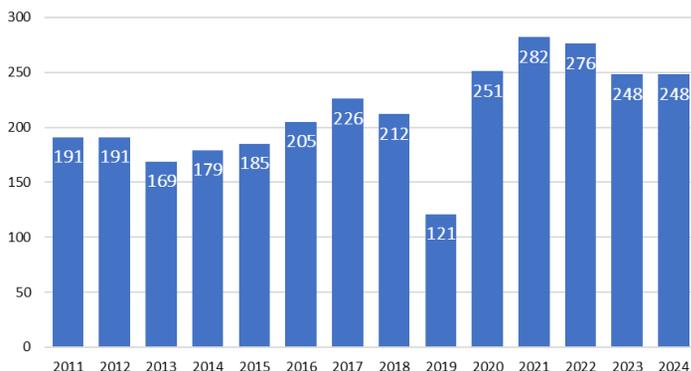
全体的には食品取扱量は減少傾向にありますが、年度末に政府備蓄米の交付が決まり、初回分を納入いただけたおかげで、昨年度とほぼ同様の取扱量を達成することができました。

食品の受取状況



取り扱い食品総量 248トン 前年度並み（政府備蓄米交付を除くと減少）
食品提供企業数 144社 前年度より減少（特に防災備蓄品提供企業）

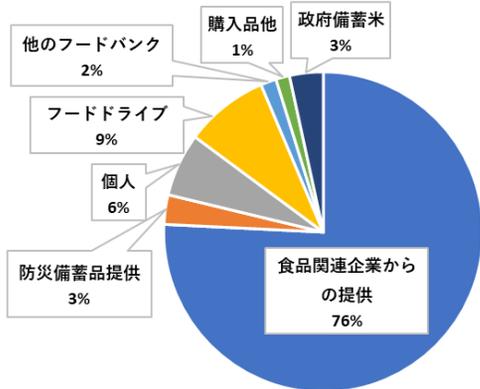
取扱量経年変化（t）



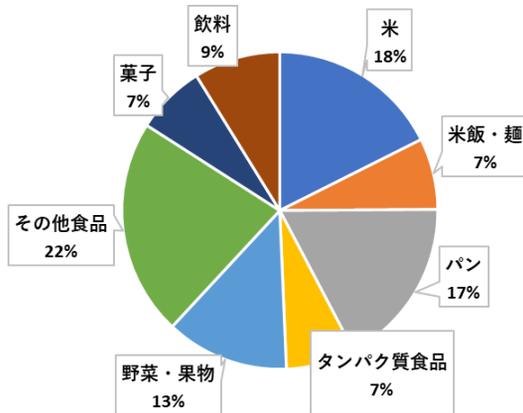
食品提供企業数（社）



食品の提供元



食品の種類



- ・たんぱく源となる冷凍食品を大量に入手することができ、たんぱく源の割合が増加しました。
- ・定期的に野菜を提供していただく農家さんや農業法人とのつながりができました。
- ・お菓子、飲料が多く集まる傾向がありました。

食品の活用状況

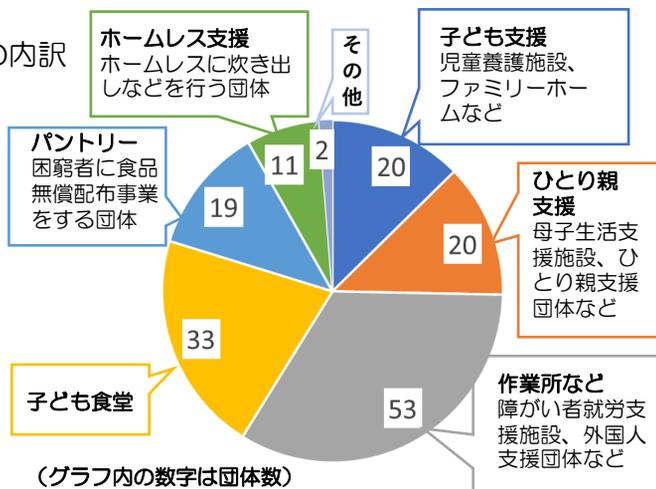


①社会的弱者を支える非営利団体等への無償提供

・企業や個人の皆さまから寄贈された食品は、主に阪神間で活動する児童養護施設や母子生活支援施設、障がい者通所施設、ホームレス支援団体、子ども食堂やフードパントリー団体などに提供しています。2024年度は158団体に月1回～3回、パン、野菜果物、米と冷凍・冷蔵・常温の各種食品を提供しました。

・定期的な食品提供に加えて、在庫が多い食品を希望する団体に臨時で提供し、寄贈された食品を有効活用できるよう心掛けています。

受取団体の内訳



②食のセーフティネット

行政、社会福祉協議会を通じて

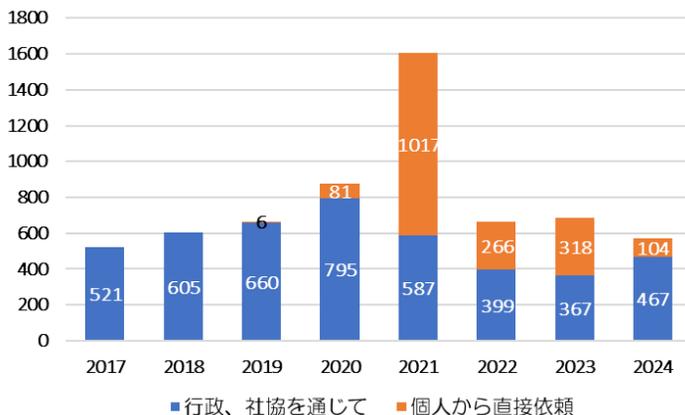
様々な理由で困窮し食糧不足に陥った世帯に対して、2012年から行政や社会福祉協議会の生活相談部署との協働により「食のセーフティネット事業」を展開しています。

2024年度は事業協定を結んでいる2市8社会福祉協議会からの支援要請に応じて食品を提供しました。当法人から提供される食品は種類も多く、生活困窮者の生命を維持するだけでなく、心を和ませ前向きな気持ちにする効果があるとの報告をいただいています。

個人からの直接の依頼に対して

「食の確保だけでなく、その後の生活再建につなげてほしい」という思いから、原則として行政や社会福祉協議会等の生活相談部署を通じて食品を提供していますが、緊急性が高く相談窓口にとどりつのが困難な場合などに限って、兵庫県在住の方には1回限り直接宅配で個人宅に食品をお送りしています。

食のセーフティネット支援件数



③困窮する子育て世帯への食支援

子ども元気ネットワーク事業

DVシェルター、母子生活支援施設、ひとり親支援NPOや子ども食堂との連携を通じて対象世帯と繋がり、当法人は1年間、米やパン、野菜、果物、レトルト食品、調味補助食品、お菓子などをいっぱい詰めだ箱を宅配で直接世帯に送っています。家計の助けになるだけでなく、食を通じて子どもとの会話がはずんだり、支えてくれる人の存在が明日を生きる力になっています。2024年度は12団体を通じて登録のあった世帯へのべ785回食品を届けました。



米(5*oまたは10*o)、缶詰、レトルト食品、乾麺、スティックコーヒー、フリーズドライ味噌汁、菓子など

子育て世帯応援食品パック事業

学校の長期休業時に子どもたちに笑顔で過ごしてほしいと、企業・団体、個人の方から寄せられた食品を詰め合わせて宅配で届けるプロジェクトを2024年度は3回実施しました。

対象 兵庫県在住、小学生以上18歳以下のお子さんのいる世帯
児童扶養手当受給、生活保護世帯、住民税非課税世帯など
経済的に困窮する世帯

2024年7月 発送件数 602世帯(2017人) 総重量 8.4 t
2024年12月 発送件数 629世帯(1932人) 総重量 8.1 t
2025年3月 発送件数 412世帯(1247人) 総重量 4 t



米の値段が特に高騰していることから、お米が入っていたことがとても喜ばれました。子どもたちはチョコレートなどのお菓子を目を輝かせて喜び、その姿を見て涙する親御さんの様子が受領書から伺えます。「困ったときに助けてもらい嬉しかったことを心に刻んで、人を助けられる大人になってねと子どもに話した」というコメントなどにスタッフも心温まります。

運営費について

2024年度もたくさんの方々からご支援いただきました。ありがとうございます。

今年度は匿名個人からの高額寄付や企業からの寄付件数が増えたことにより収入は前年度より増加いたしました。

(1) 賛助会員、個人・企業からの支援

- 本年度は、賛助会員からの年会費、一般の皆様からの寄付が、個人・法人を合わせて776件となりました。

(2) 助成金・補助金

- 神戸市環境局のフードバンク活動支援助成
- 赤い羽根共同募金

フードバンク事業には収益性がないため、当法人の活動運営費は活動趣旨に賛同して下さる賛助会員年会費、市民や団体からの寄付、そして助成金で賄っています。

皆さまのご支援を、これからもどうぞよろしくお願いたします。

<収入>

	個人	金額(円)	団体	金額(円)	合計金額(円)
正会員年会費	27人	270,000	0	0	270,000
賛助会員年会費	214人	3,704,000	138	3,159,000	6,863,000
一般寄付	388人	16,062,513	36	7,579,649	23,642,162
助成金	神戸市・パブリックリソース財団・赤い羽根共同募金				1,165,510
資産受贈益	ACCJ 関西より法人車輛受贈の評価額				1,750,000
その他の収益	受取利息・配送分担金・雑収入				737,639
経常収入合計					34,428,311

<支出>

費目・摘要	金額(円)	費目・摘要	金額(円)
事業費		管理費	
人件費	2,750,000	賃借料	720,000
食品配送経費	4,185,288	支払い手数料	568,377
交通費	1,993,820	水道光熱費他	57,214
賃借料	3,344,115	その他	123,311
食品購入費	1,992,732		
その他	6,337,155		
事業費合計	20,603,110	管理費合計	1,468,902
経常支出合計			22,072,012

2024年度経常収支差額	12,356,299
--------------	------------

「第7回いのちとくらしの映画祭&講演会」

2025年2月11日 (新開地アートひろばホール)

コープ自然派兵庫、コープこうべとフードバンク関西が実行委員会を組んで、貧困などの社会問題を市民と一緒に考える機会として毎年開催しているイベントです。今回は料金滞納世帯へ給水停止を執行する水道局員の葛藤を描く映画「濁水」上映と児童虐待防止活動に尽力されている島田妙子さんの講演「子どもたちの笑顔を守るために~私たちにできることは~」、地域で社会的弱者を支える活動をしている団体の活動紹介を行いました。



広報活動

コープ自然派兵庫主催「自然派マルシェ2025」出展

2025年3月22日

御影クラッセ主催SDGsイベント

「育てる!味わう!再利用する!おいしく野菜を食べよう」出展

2025年4月28日

子ども達対象の「お菓子釣りゲーム」、子ども、大人向け「食品ロスクイズ」によって、フードバンク活動についての広報を行いました。



フードバンク関西の食品提供先の支援活動を見学させていただきました

フードバンク関西の食品提供先団体のホームレス支援活動を見学させていただきました。

土曜日の夕方、通天閣から新今宮駅に向かって観光客で溢れる商店街を抜け、線路を越えると街の風景が一変します。がらんとした通りの所々に、ビルにもたれかかったり寝転んだりする人達が見えます。指定された場所には100人近くの人達が列を作って待っていました。お互いおしゃべりすることもなく、静かに遠慮がちに待つ人々には高齢者が多いものの、若い人も、そして女性もちらほら見受けられます。

配布を手伝うスタッフも自然発生的に集まってきたボランティアとのこと。

食品のメインは、フードバンク関西からの食材を使って事前に調理してきたカレー弁当。なぜカレー?とお聞きしたら、以前別の料理を作った時、利用者から「今日はカレーじゃないのか」と残念そうな言葉が出たことがあり、それ以来ずっとカレーにしているそうです。

お弁当に加えて、バナナ、災害備蓄のパンやビスケット、豚まん、パンやマフィン等々、フードバンク関西から受け取った食品をスタッフが順に配っていきます。配布の際のお約束は、『女性と初めての人には優しく』。パンを配る時は、若い人には少し多めに渡したり、女性にはチョコチップ入りの甘いパンを選んだり、そこはかとない配慮が感じられます。

「2週間に一度、ここにすれば食を得ることができる、自分の命を気にかけてくれる人たちに会える。」食品を受け取る人々の表情から、ここは食をいのちへつなく場なのだという実感が伝わってきます。

食品配布終了後は、代表の牧師さんを囲んでスタッフ全員でお祈り。今日の出会いに感謝し、みんなの幸せを祈ります。

2週間に一度のこの活動が社会に与えるインパクトは大きくはないかもしれませんが、それでもこの食品配布が生きる力になっている人達が確かにいることを知り、これからもしっかり支えていきたいと強く思いました。



平日に車を運転して、食品の引き取りやお届けで私たちの活動の一端を担ってくださるボランティアさんを募集しています。関心のある方はHPお問い合わせまたはお電話でご連絡ください。

誰もが食べ物を得られる社会のために、みなさまのご支援をお願いします。

クレジットカードから手軽に寄付ができます!

●公式ホームページから <https://foodbankkansai.org/donate-money/>

●ゆうちょ口座への払込、振替：口座番号 **00990-7-333141**

※ 赤い郵便振替取扱票は当法人送金手数料負担。振込手数料について詳しくはゆうちょ窓口へお問い合わせください。

●銀行振込：三井住友銀行 芦屋駅前支店 口座番号 **4032415**

※振込手数料について詳しくは銀行窓口にお問い合わせください。

※お振込みの際には、メール（info@foodbankkansai.org）もしくはホームページの寄付フォームにて寄付者の住所、氏名、寄付日時、寄付なのか賛助会費なのかを必ずお知らせください。

●ゆうちょ、銀行いずれも口座名義は「特定非営利活動法人フードバンク関西」です。



↑↑こちらからもお申込みできます。